

平成 30 年度第 1 回富津市創生会議 会議録 (要旨)

1 会議の名称	平成 30 年度第 1 回富津市創生会議
2 開催日時	平成 30 年 5 月 25 日 (金) 午前 9 時 00 分～午前 11 時 17 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 503・504 会議室
4 審議等事項	会長及び副会長の選出について 総合戦略 (2020-2024) 策定方針 (案) について
5 出席者名	富津市創生会議委員 (10 名) 岩沢 宏幸、オノミチ 三由紀、小泉 晴信、小坂 和幸 佐藤 公宏、島野 勝弘、武次 治幸、鳥飼 尚、 森田 泰彰、山口 拓也 事務局 (9 名) 市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、 総務部長 白石 久雄、総務部次長 秋嶋 隼人、 企画課長 坂本 秀則、企画課企画係長 田内 友臣、 企画課主任主事 山田 誠、企画課主任主事 鶴岡 隆樹、 企画課主事 坂本 由紀子
6 項会又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 20 人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

富津市創生会議 会議録署名人

会議録署名人

平成 30 年度第 1 回富津市創生会議 会議録（要旨）

発言者	発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 委員及び市職員の紹介</p> <p>会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用</p> <p>5 議題 （1）会長及び副会長の選出について 下記のとおり会員の互選により選出 会長 武次 治幸 副会長 岩沢 宏幸 会議録署名人は下記のとおり オノミチ委員、小泉委員</p> <p>（2）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020－2024）策定方針（案）について</p>
武次会長	<p>議題（2）富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020－2024）策定方針（案）について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>本日の会議は、新規に就任された委員の皆様には初めての会議となるため、本市の総合的な行政計画及び現総合戦略の策定経緯を説明した後、次期総合戦略策定方針案について説明させていただく。 現総合戦略の策定経緯について説明。 資料3「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020-2024）策定方針（案）」について説明。 以上の説明及び資料を基に、次期総合戦略策定方針案について、委員同士でも活発にディスカッションしていただき、意見等をいただきたい。</p>
武次会長	<p>ここで休憩を挟み、議題（2）の質疑応答に移る。</p> <p>（休 憩）</p>
武次会長	<p>会議を再開する。議題（2）の事務局の説明に対し、質問はあるか。</p>
鳥飼委員	<p>策定から2年間を終え、現総合戦略の進捗、成果等をどう評価しているか。</p>

	<p>また、目標値については、中間指標を把握しているか。それともそれは市民アンケート等でこれから把握していくのか。</p>
企画課	<p>総合戦略に掲載の各事業については、事業シートを策定し、予算、決算等でシートごとの進捗状況を評価し、PDCAの実施により、各年度で改善している。</p>
鳥飼委員	<p>例えば現総合戦略の6ページ「市に愛着を持っている人の割合」について、現時点で目標値の評価はできるのか。</p>
企画課	<p>市民の感じる愛着度については、今年6月に実施する市民アンケートを基に、同じ質問に対する回答推移を見て、進捗を確認したい。</p>
鳥飼委員	<p>前回実施したアンケートの内容を見たい。 6月のアンケートは、前回のアンケートを基にした内容か。</p>
企画課	<p>前回のアンケート結果からの変化を確認するため、アンケート項目は基本的には同じである。 また、前回のアンケート結果は、市ホームページで公表している。</p>
小坂委員	<p>市のホームページやフェイスブックは、毎日更新しないと見る人が増えない。更新頻度を増やすことにより、より良い情報発信ができると思う。</p>
島野委員	<p>今年度アンケートを実施して中間指標として反映させるのであれば、PDCAのサイクルが5年に1度でありサイクルが長いと感じるので、サイクルのテンポを早くした方が良いと思う。 また、それぞれ4つの基本目標ごとにどのくらい費用や人件費がかかるのかが知りたい。</p>
企画課	<p>事業ごとに事業シートにより管理している。</p>
島野委員	<p>目標達成のためにコストパフォーマンスを意識すると良いと思う。</p>
事務局	<p>各事業のコスト、人工については、当該年度の決算時期に事業ごとに、各担当課で事業シートを作成する。その際、各事業に対して人工を含めたコストを算出して公表している。 また、事業シートを活用して本会議でも報告し、次年度予算に向けて皆様からの意見を反映させPDCAを回している。現在も決算作業中であり、固まり次第皆様に各事業のコストの公表等を説明する予定。</p>
島野委員	<p>この創生会議では、全事業、全施策について説明する必要はないと思う。4つの基本目標について、大まかな経費の説明ができればよいと思う。</p>

山口委員	<p>本会は今年度3回の実施と伺った。今年度もあと2回の開催だが、それ以外は何もしないという認識でよいか。非公式な会議は無いのか。</p>
企画課	<p>昨年度の創生会議は、年度当初、決算及び次年度予算作成の時期に合わせて、年間3回実施した。今年度も前年同様に全3回を予定している。次回以降は、担当課も同席し、PDCAを確認していく予定である。</p>
山口委員	<p>2つ提案がしたい。1つは会議の拡充。残り2回の会議でできることは限られるため、委員の負担も大きくなる。正式な会議とは別の会等を開催してはどうか。</p> <p>2つ目は、会議数を増やさず1つひとつの会議のテーマを事前に決めて実施してはどうか。</p>
企画課	<p>一例として移住・定住のようなテーマごとにワークグループを実施することについては、検討する。</p>
森田委員	<p>総合戦略の目標が順調に進行しているのかわかりにくいところがある。</p> <p>また、規制緩和に関心があるが、現状の事業シートの書き方は、規制緩和、制度変更の目標の達成度合いがわかりにくいところがあるので、改善して欲しい。</p>
企画課	<p>今後はシート内容の改善を踏まえて進めたいと思う。</p>
小泉委員	<p>直接的な人口増加策ではないが、市内の子どもたちに体験型漁業を通じて協力できると思う。</p>
オノミチ委員	<p>私自身移住者であり、富津市の人に助けられて今があると感じている。富津市のように隣近所の状況がわかる環境でも、安心安全な子育てには課題があるので、本会を通じて一緒に考えていきたいと思う。</p>
岩沢副会長	<p>総合戦略の数値的な目標のうち、次期総合戦略策定前にそれらの進捗が確認できる場合は、中間評価として更新するとわかりやすい。</p> <p>市民委員会では、様々な意見が出てくると思うが、市民の参画意識が高まり、市としても参考になる意見が得られると思う。</p>
企画課	<p>数値目標については、各事業シートに最新の数字を掲載し、中間評価としてPDCAチェックを行っている。富津市への愛着度等、中間評価の難しい目標については、今回実施するアンケートで推移を確認する。</p> <p>また、市民委員会は継続して実施するが、来月に実施するアンケートに市民委員会への参加依頼を同封し、前回以上の応募を期待する。また、前回の4つの分科会を2つに縮小し、基本目標も2つに分けて意見をいただきたいと考えている。</p>

岩沢副会長	市の人口ビジョンでも女性の転出が問題になっている。女性の意見は大切だと思うので、女性が意見を出しやすい会議になればいいと思う。
企画課	本会の委員定数は15名なので、今後、市民委員会に参加していただく女性の中からも参加希望者がいれば、委員の追加を検討していきたい。
島野委員	会議の拡充案について、実際に会議に出席せず、遠隔で参加する手段も、委員の負担軽減になると思う。 また、規制緩和について、特区制度よりもっと簡易なサンドボックス特区についても政府発表があった。それらも活用して、民間の提案を上手く取り入れて実施すると良いと思う。
鳥飼委員	次期総合戦略の策定については、基本的には事務局案で進めて良いと思う。 アンケートについて、今回の対象者、規模を確認したい。また、アンケートの中に富津市人口ビジョンや総合戦略の認知度について何う項目はあるか。
企画課	今回のアンケートの対象者は15歳以上の市民から無作為に2,000人を抽出する。アンケートには、富津市人口ビジョン、総合戦略の認知度は項目として入っていないので検討する。
島野委員	人口減少や転出対策は、転出した人に意見を聞く方が良い。市外の人に意見を聞く方法として、例えば中学校の同窓会等でアンケートを配るのはどうか。転出者に転出した理由を詳細に確認すれば、計画が洗練されると思う。
企画課	前回はウェブアンケートとして市外の人にもアンケートを実施している。今回も市民だけでなく、転出者や関東近郊の人等の意見収集も考えている。
佐藤委員	本会の位置付けは、市民委員会と連携するという理解でよいか。また、今の課題を解決していく会議なのか、それともアンケート等を基に総合戦略の方向性を決めていくものなのか。
企画課	本会の位置付けは、現総合戦略の進捗状況をチェックしていただく場、また、市民委員会と連携してアンケート等の意見を基に、次期総合戦略を市と策定していただく場の両方になる。
佐藤委員	不動産業者としての実感では、富津市民は君津、木更津に家を建てる人が多く、また、富津市の女性は君津市民、木更津市民と結婚して転出しているのが現状だと思う。君津、木更津は交通の便も良いが、富津はどこをPRすべきか悩ましい。 また、リゾート業を通じてだが、観光客は富津市の良いところを見に

	訪れるが、移住につながるかは別の問題である。 富津のPRできる部分、富津市のブランド力についてアンケートに盛り込むといいと思う。
企画課	具体的にPRできる点についても意見収集できるよう、アンケートを検討していきたい。
山口委員	創生会議の立ち位置は、数値目標が達成できるように意見や提案を行うということによいか。
企画課	そのとおりである。
山口委員	私は金谷の空き店舗を活用して「コワーキングコミュニティまるも」を運営しているので強い分野は移住と仕事の創出である。基本目標2の基本的な施策の方向「①交通利便性を高める」について、去年の行政の取組と進捗を伺いたい。
企画課	公共交通の利便性について、去年は富津市地域公共交通網形成計画を策定し、今年度から本格的に実施をしていくという段階である。
山口委員	具体的な今年の実施事業はあるのか。
企画課	今年度実施予定の事業として、市民に公共交通の情報を提供するための公共交通マップの作成、地域に出向き課題や意見を聞くためのワークショップの開催を考えている。
山口委員	計画にスピード感が足りない。金谷では、配車していたタクシー会社が廃業になり、電車の本数も減少し、公共交通が後退していると感じている。行政の具体的な施策として、既存のタクシー会社等に助成金で金銭的に援助するのはどうか。また、高速バスについては東京行の本数を増便して欲しい。 また、この会議での発言に対する検討や確認依頼したことが実際どのような形で改善等されるかを、メールで回答、又は会の中で共有することは可能か。
高橋市長	山口委員については、まるもストアの空き店舗を活用して、活気あるまちを作っていただき、大変感謝をしている。 公共交通の考え方にに基づき、富津市地域公共交通網形成計画は策定されており、利用者、特に地域の皆様に支えていただかなければ持続可能な公共交通はつくっていけない、ということ考え方の中心に置いている。公共交通は、あればいいのか、ただ走ってあればいいのかということに関して、多くの市民から空の大きなバスを走らせるということもつたないという意見もある。 また、JRに対しては、富津以南の行政と連携して、便数を減らす前

	<p>に情報が欲しい、もしくは便数を確保するために行政としてどういう努力をすればいいのかを例示して欲しいと要望している。しかし、JRも民間企業であり、利用者数を中心に運営を考えていると感じる。タクシーについては、館山のタクシー会社が金谷に1台配車していたところ、廃業により撤退したと先日確認した。今後もタクシー会社の協力により公共交通を守っていくというのが公共交通の中の考え方の一つではないかと捉えている。</p> <p>東京、千葉方面について、今年度の事業として東関東自動車道の館山線の4車線化に伴う、現在市民から名称を募集している浅間山バスストップの開通がある。これにより上り下りの合計で100便を超え、特に天羽地区については、今までに経験のない利便性が担保できると考えている。</p> <p>スピード感の無さは市民からお叱りを受ける部分ではあるが、持続可能性についてもしっかりと頭に入れながら進めていきたいと考えている。</p>
山口委員	<p>特に高齢者には浸透しないと思うが、一案として、タクシー配車アプリのウーバー等の活用やタクシーを民間でやる方の支援を行うのはどうか。</p> <p>また、基本目標2の基本的な施策の方向「③移住者受け入れの環境整備」について、CCRCの検討やPR等、直近1年間の行政の取組を伺いたい。</p>
企画課	<p>現総合戦略の14ページについて、CCRCの先進事例等の情報は得て検討しているが、具体的にはまだ動いてない。</p>
山口委員	<p>CCRCはいすみ市でも取り組んでいて、国の助成金があるため是非取り組んでもらいたい。</p> <p>移住相談件数について、金谷に直近2年半で移住もしくは数ヶ月以上居住した人が「まるも」で確認できるだけで70人、それ以外の人も入れると100人近く移住している。市の移住支援や、相談対応について今後の案も含めて伺いたい。</p>
企画課	<p>移住相談件数について、平成26年度実績は13件、平成29年度実績は12件にとどまっている。これは市で連携を結んでいる千葉県宅地建物取引業協会南総支部に提供した相談件数だが、実際には民間で受けている相談もあると思うので、市が把握できない情報については、提供いただきたい。</p>
山口委員	<p>移住相談は既に民間で実施しており、行政は相談件数を増やすことを目標値にするのではなく、相談を受けた窓口に対してスムーズに移住できる支援をすることを目指して欲しい。</p> <p>空き家情報の提供による転入促進の進捗はどうか。事業実施の方法として民間の支援を行うと良いのではないかと。空き家情報の収集を委託す</p>

	る、空き家改築の助成金を創設する、空き家の売却に対して補助金を交付するなどはどうか。
企画課	受入側の支援として、現在は空き家バンクの検討、本年度は地域おこし協力隊の導入を進めている。
山口委員	担当部署はどこか。
企画課	企画課である。
山口委員	金谷は移住希望者が多く、家さえあれば移住者はいくらでも増やせる状況なので、別途今後やり取りしていきたい。
佐藤委員	以前に移住者向けで実施していた定住奨励金の成果はどうか。
事務局	平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 1 月 1 日までの間、市外から転入して家を建てた方に最大 7 年の固定資産税相当額を交付する制度を実施した。現在、交付事務自体はまだ実施しているが、アンケート結果から、この定住奨励金があったから富津市に家を建てたいと思った方の割合は極めて小さかったため、市では定住促進効果が低いと判断し、平成 27 年 1 月 1 日までの対象者で制度は終了している。
佐藤委員	実績はどうか。
事務局	平成 29 年度は 330 件。概ね毎年 320～330 件で推移している。
佐藤委員	住民票を移した後すぐ転出する方がいると聞いているので全て掌握するのは難しいと思う。相談件数 12 件とあったが、私が知っているだけでも 2 人くらいいるので、実数はもっと変動すると思う。
森田委員	農業の観点からも空き家バンクは早く作ってもらいたい。農業委員会は農地取得の下限面積を緩和して新規就農者を増やす取組をされていて、空き家に付属する農地を取得する場合の下限面積を極限まで低くしたいと考えているが、空き家バンクに登録された物件を対象とする方向で意見がまとまってきている。実際に物件が無いと規制緩和をしても意味ない。こうした施策をアピールすれば少しでも移住者が増えるのではと思う。
島野委員	近年の働き方改革の観点から、富津から都内へのバスが増えても、浅間山まで車で行くことを踏まえると都内までの移動時間が 2 時間を超えるので通うのは辛いと思う。 その場合、「まるも」のようにフリーランスの集まる場を増やすのは良いと思う。在宅勤務のニーズはこれからだんだん増えてくると思うので、コワーキングスペースを増やした方が良いと思う。平日は市の会議室を

	<p>1箇所でも開放するなどはどうか。取組として見せることが重要であるのではないか。</p>
武次会長	<p>先ほどの山口委員からの非公式な会議の提案は良いことだと思う。実施方法やテーマはまた検討したい。</p>
山口委員	<p>基本目標4の基本的な施策の方向「①雇用の創出」について、金谷は今、移住者のほとんどがフリーランスという形で独立、また、若い移住者が多くの飲食店を出店するなど、観光と同様に創業・起業する人が多く活気づいている。創業支援事業についても、金谷にもう少し目を向けてもよいと思う。</p> <p>また、廃校等を活用した企業誘致について、直近で3～4件廃校が決まっているが、たとえば企業に貸与する等活用方法は決まっているか。</p>
高橋市長	<p>閉校後の校舎については、金谷地区の金谷小学校、竹岡小学校、天神山小学校、天羽東中学校、大佐和地区の佐貫中学校の校舎が平成32年4月に空く予定である。今後地域の皆様の意見もいただきながら、まず行政サービスで活用できるか考えたい。しかし、使わない施設となった場合には、経営改革の観点からも厳しいと考えるので、民間で利用希望があれば声をかけていきたいと考えている。再編の計画が決まったばかりであること、敷地に借地が含まれている学校が非常に多くあることから、今はその手続き等を進めているので、まだ皆様に意見を求める段階でないのが現状である。長引けば市の負担が増える問題であるため、スピード感を持って取り組みたい。</p>
山口委員	<p>最近鴨川市、鋸南町、他県からも廃校廃施設の活用について相談が増えている。なるべく早く動かなければ廃校が余って使われない可能性があると感じている。</p>
武次会長	<p>他にご意見がないようであれば、議題（2）は資料3の策定方針案のとおりとすることによろしいか。</p> <p>異議なしの声</p>
武次会長	<p>以上をもって議題（2）を終了する。 次に議題（3）その他について、何かあるか。</p>
事務局	<p>特になし</p>
武次会長	<p>本日の質問、意見については会議録の確定をもって取りまとめさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもって平成30年度第1回富津市創生会議を終了する。</p> <p>最後に、市から何かあるか。</p>

小泉副市長	<p>委員の選考に当たりましては、さまざまな分野に長けている方を熟慮し、皆様を選考させていただいたところですが、本日の会議は、期待どおりの活発な会議となり、今後も更なる期待を寄せているところです。</p> <p>今後も、職員一丸となり市民の皆様とともに、市の最重要課題である年少人口減少の抑制に向け、「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に着実に、スピード感をもって取り組んでいくので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(終了時刻 午前 11 時 17 分)</p>
-------	--

以上